

## Point 027

- 76 Tom would answer the phone himself if he ( ) at home.  
 ① is ② were ③ would be ④ would have been (摂南大)
- 77 If my sister were here, she ( ) me on what to do to solve  
 this problem.  
 ① has advised ② will advise  
 ③ would advise ④ will have advised (獨協大)
- 78 その知らせを聞いたらメアリーはどうするだろうか。  
 ( would / do / if / heard / Mary / what / she ) the news? (帝京大)

## Point 028

- 79 If I ( ) more time then, I could have checked my report  
 again.  
 ① have ② would have ③ had ④ had had (学習院大)
- 80 If we had known your new address, we ( ) to see you.  
 ① came ② will come  
 ③ would come ④ would have come (名古屋女子大)

- 76 もし家にいれば、トム自身が電話にでるだろう。
- 77 もしここに姉がいれば、この問題を解くためにどうしたらいいか助言してくれるのに。
- 79 もしそのときもっと多くの時間があつたならば、私はもう一度、報告書の内容を確認することができただろう。
- 80 もし私たちがあなたの新しい住所を知っていたら、あなたに会いに行つたでしょう。

## Point 027 Ⅲ 仮定法過去の基本形

仮定法の「法」とは動詞の形を表す文法用語であり、動詞の使い方が何よりも重要なポイントになる。

## 整理 10

## 仮定法過去の基本形

If+S+動詞の過去形..., S'+would / could / might / should+動詞の原形~.  
 従節 主節

「もしSが…するなら、S'は～するだろう(に)」

- \* 従節中の be 動詞は原則として were を用いる。(現在では、単数扱いの主語の場合 was も使われる)
- \* 主節中の助動詞に should を用いるのは、原則として1人称の主語(I, we)の場合のみ。

- 76 仮定法過去一従節の形 標準  
 ▶ 仮定法過去の基本形は、現在の事実と反対の仮定や実現の可能性の低い仮定を行い、それに基づく推量を表す。  
 ▶ 本問は、仮定法過去の従節なので、動詞の過去形を選ぶ。
- 77 仮定法過去一主節の形(would do) 標準
- 78 仮定法過去の疑問文 標準  
 ▶ what で始まる疑問文なので What would S do ...? の語順になる。

## Point 028 Ⅲ 仮定法過去完了の基本形

## 整理 11

## 仮定法過去完了の基本形

If+S+動詞の過去完了形(had done) ..., S'+would / could / might / should+have done ~.  
 従節 主節

「もしSが…したなら、S'は～しただろう(に)」

- \* 主節の助動詞に should を用いるのは、原則として1人称の主語の場合のみ。

- 79 仮定法過去完了一従節の形 標準  
 ▶ 仮定法過去完了の基本形は、過去の事実と反対の仮定を行い、それに基づく推量を表す。  
 ▶ 本問は仮定法過去完了の従節なので、動詞の過去完了形を選ぶ。
- 80 仮定法過去完了一主節の形(would have done) 標準

## Point 029

81 If I had been told so then, I ( ) happier now.

- ① would be ② will be ③ am ④ have been <千葉工大>

82 If I ( ) a computer last year, I'd still be using my old typewriter.

- ① hadn't bought ② haven't bought  
③ shouldn't buy ④ wouldn't buy <センター試験>

## Point 030

83 Even if the sun ( ) in the west, he would not change his mind.

- ① would arise ② were to rise  
③ might raise ④ were to rouse <関西外大>

84 I don't think he will stop by my office. But if he ( ) while I'm out, give him more information.

- ① came ② will come  
③ should come ④ had come <聖マリアンナ医科大>

## Point 031

85 Jim wishes he ( ) better grades, but he isn't willing to study harder.

- ① got ② have got ③ gets ④ has <学習院大>

86 I wish I ( ) enough money to buy the house around this time last year.

- ① had ② could have ③ had had ④ should have <明治大>

87 金曜日までには仕事を終わっていただきたいのですが。

- I ( would / wish / finish / the work / you / by / Friday ). <東海大>

81 もし私があるときそのように言われたならば、今はもっと幸せでしょう。

82 もし昨年コンピュータを買わなかったならば、私はまだ古いタイプライターを使っているでしょう。

83 たとえ太陽が西から昇っても、彼は意見を変えないでしょう。

84 彼が私のオフィスに立ち寄りとは思わない。だが、万一、私がいけない間にやって来たら、さらに情報を教えてあげなさい。

85 ジムはもっとよい成績がとればいいのにと考えているが、もっと一生懸命勉強しようという気はない。

86 去年の今ごろ、その家を買うだけのお金があったらよかったのになあ。

## Point 029 〓 仮定法過去・過去完了の併用形

## 81 仮定法過去・過去完了の併用形

標準

- ▶主節と従節において、仮定法過去と仮定法過去完了が併用されることがある。本問では、従節に仮定法過去完了を用いて過去の事実と反対の仮定を行い、主節に仮定法過去を用いて現在の実事と反対の推量を行っている。従節の **then**、主節の **now** という副詞に着目すること。
- ▶仮定法の基本を押さえたなら、今度はパターン化して考えることから脱却して、文意から判断していくという姿勢を持つことも大切。

82 併用形—**if**節の **last year** に着目

標準

Point 030 〓 **If S were to do ... / If S should do ...**83 **If S were to do ...**

標準

- ▶「**If S were to do ... , S' + would / could / might / should + 動詞の原形**〜。」の形は、一般に**未来の事柄に対する仮定**を表す。
- ▶文頭の **Even if ...** は「たとえ...でも」の意味を表す。

84 **If S should do ...**

標準

- ▶**If S should do ...** の形も、一般に**未来の事柄に対する仮定**を表す。ただし、この表現は主節に、「**would など + 動詞の原形**」の他に、「**will など + 動詞の原形**」、さらには**命令文**が来る場合もある。本問は命令文が用いられている。

Point 031 〓 **S wish + S' + 仮定法**

整理

12

**S wish + S' + 仮定法の従節の動詞の形**

- (1) **S wish + S' + 動詞の過去形(仮定法過去) ...**  
「SはS'が...すればよいのになと思う(現在の実事と反対の事柄の願望)」
- (2) **S wish + S' + 動詞の過去完了形(仮定法過去完了) ...**  
「SはS'が...すればよかったのになと思う(過去の事実と反対の事柄の願望)」

85 **S wish + S' + 動詞の過去形 ...**

標準

- ▶本問は、現在の実事の反対を想定しているので仮定法過去の形が来る。

86 **S wish + S' + 動詞の過去完了形 ...**

標準

- ▶過去の事実の反対を想定しているのだから、仮定法過去完了の形が来る。

87 **S wish + S' + would do ...**

発展

- ▶これからのことに対する願望を表すためには、「**S wish + S' + would do ...**」の形を用いる。これは、未来を表す助動詞 **will** を用いた **will do** が、仮定法過去の形、すなわち **would do** になったと考えればよい。

## Point 032

88 If ( ) there were forty-eight hours in a day!

□□□

- ① only ② merely ③ little ④ greatly

〈九州産大〉

89 ラジオをつけないでほしいのですが。

□□□

- I ( didn't / you / would / turn / rather ) on the radio.

〈駒澤大〉

## Point 033

90 It is time she ( ) to think about her future.

□□□

- ① begin ② begins ③ is beginning ④ began

〈九州国際大〉

91 彼は、まるでオーストラリアのことは何でも知っているかのように話します。

□□□

He talks ( knew / if / everything / he / as ) about Australia.

〈京都学園大〉

## Point 034

92 If ( ) not for his faults, I would marry Paul at once.

□□□

- ① it is ② it were ③ there are ④ there were

〈京都産大〉

93 (a) Without his help, I could not have succeeded.

□□□

- (b) If it ( ) ( ) ( ) for his help, I could not have succeeded.

〈鹿児島大〉

88 1日が48時間あればいいのに！

90 彼女はもう自分の将来について考えてもいいころだ。

92 もし彼に欠点がなければ、私はすぐにでもポールと結婚するでしょう。

93 (a) (b) 彼の助けがなかったら、私は成功することはできなかったでしょう。

## Point 032 :: If only+仮定法...! / S would rather+S'+仮定法...

- 88 **If only**+仮定法...! 「…であれば[あったら]いいのだが」 標準
- ▶ ㊦ **If only**+S+動詞の過去形(仮定法過去)...!  
で、現在の事実と反対の事柄に対する話者の願望を表し、
- ④ **If only**+S+動詞の過去完了形(仮定法過去完了)...!  
で、過去の事実と反対の事柄に対する話者の願望を表す。
- ▶ **If only**+仮定法...! は、「I wish+仮定法...」の同意表現と考えてよい。

- 89 **S would rather**+S'+仮定法... 発展
- ▶ **S would rather**+S'+仮定法過去/仮定法過去完了... という定式化した表現がある。これは「**S wish**+S'+仮定法過去/仮定法過去完了...」(→p.43【整理12】)とほぼ同意の表現。本問は仮定法過去を用いた形。
- +プラス** **would rather**の助動詞用法は問題54, 55参照。

## Point 033 :: It is time+S+仮定法過去 / as if+仮定法

- 90 **It is time**+S+仮定法過去 標準
- ▶ **It is time**+S+動詞の過去形(仮定法過去)... の形で、「Sは…してもよい時期[時間]だ」の意味を表す。定式化した表現として覚えておく。
- +プラス** **It is high time**... 「当然…してもよい時期[時間]だ」  
**It is about time**... 「そろそろ…してもよい時期[時間]だ」
- 91 **as if**+S+仮定法過去 標準
- ▶ ㊦ **as if**+S+動詞の過去形(仮定法過去)... 「まるでSは…するように」
- ④ **as if**+S+動詞の過去完了形(仮定法過去完了)... 「まるでSは…したかのように」
- +プラス** **as though**も**as if**と同意で用いられる。なお、現在では**as if**/**as though**の後に直説法が用いられることもある。

## Point 034 :: if it were not for A / if it had not been for A など

- 92 **if it were not for A** 「もしAがなければ」 標準
- ▶ 慣用化した仮定法過去の表現。
- 93 **if it had not been for A** 「もしAがなかったら」 標準
- ▶ **if it were not for A**の仮定法過去完了の形。なお、両者とも**without A**/**but for A**の副詞句で表現することができる。本問の(a)は、仮定法過去完了で**without A**を用いたもの。

94 (a) He recommended me, so I got a promotion.

- (b) (        ) (        ) his recommendation, I would not have got a promotion. 〈昭和女子大〉

## Point 035

95 (        ) in your place, I would not forgive him for betraying you.

- ① I were ② If were I ③ Were I ④ Were if I 〈北海学園大〉

96 (        ) he read my letter then, he would have understood me.

- ① If ② Were ③ Did ④ Had 〈実践女子大〉

97 (        ), the government would have to act swiftly.

- ① If a serious crisis will arise  
② A serious crisis were to arise  
③ Were a serious crisis to arise  
④ Were a serious crisis arisen 〈松山大〉

98 (        ) you notice any suspicious bags, please inform the conductor.

- ① Could ② Might ③ Should ④ Would 〈青山学院大〉

99 あのとときマイケルが助けてくれなかったら、私は留学をあきらめていたことだろう。

- ( for / been / had / at / Michael's help / not / it ) that time, I would have given up the idea of studying abroad. 〈神戸学院大〉

100 A better bridge could have been built (        ).

- ① if they didn't assist us        ② had it been not for their help  
③ having had them help us        ④ had they offered assistance 〈東海大〉

- 94 (a) 彼が私を推薦したので、私は昇進した。  
(b) 彼の推薦がなかったら、私は昇進しなかっただろう。
- 95 私があなたの立場ならば、あなたを裏切ったことについて彼を許したりしないだろう。
- 96 そのとき彼が私の手紙を読んでいたならば、私のことを理解しただろう。
- 97 もし重大な危機が発生するとすれば、政府はすばやく行動しなければならないだろう。
- 98 不審なバッグにお気づきの際は、車掌までお知らせください。
- 100 もし彼らが援助を申し出ていたならば、もっとよい橋が建設されていただろう。

- 94 **but for A** 「もし**A**がなかったら／もし**A**がなければ」 標準  
 ▶(b)は仮定法過去完了なので、if節で表すなら、If it had not been for his recommendationとなる。また、If he had not recommended meとも表現できる。

### Point 035 接続詞 if の省略

仮定法の条件節に倒置形を用いて、接続詞 if を省略することがある。ただし、仮定法過去の場合は、be 動詞 were の場合のみで、一般動詞の場合は、現在では倒置による if の省略は行われない。

- 95 **If I were in your place** → **Were I in your place** 標準
- 96 **If he had read ...** → **Had he read ...** 標準  
 ▶文内容からして仮定法過去完了なので、① If を入れた仮定法過去の条件節の形は不可。
- 97 **If S were to do ...** → **Were S to do ...** 標準  
 ▶問題 83 でテーマ化した If S were to do ... を、**Were S to do ...** という if を省略した倒置形で表す。
- 98 **If S should do ...** → **Should S do ...** 標準  
 ▶問題 84 でテーマ化した If S should do ... を、**Should S do ...** という if を省略した倒置形で表す。  
 ▶本問では主節に命令文が来ていることに注意。
- 99 **If it had not been for A** → **Had it not been for A** 標準  
 ▶語群に if がないことに注意。問題 93 でテーマ化した If it had not been for A を、**Had it not been for A** という if を省略した倒置形にする。
- 100 複雑な形—主節の後で用いられる場合 読解 標準  
 ▶仮定法過去完了の条件節を、if を省略して倒置形で表したもので、問題 96 と同じパターン。ただし、主節の後で用いられている。  
 ▶②は not の位置が誤りで、文意も合わない。had it not been for their help なら文法的に正しい表現になるが(→99)、そうしたとしても「彼らの助けがなかったら、もっとよい橋が建設されていただろう」という不自然な文意となる。  
**!! 注意** if を省略して倒置形で表した条件節が主節の後で用いられるパターンは、英文読解の上でも極めて重要。



## Point 036

**101** もう少し努力していれば、彼は試験に受かっていただろうに。

- (if / more / little / a / effort / with), he would have passed the examination. (1 語不要) 〈成蹊大〉

**102** I wrote to my parents; ( ) they would have worried about me.

- ① if ② likewise ③ otherwise ④ therefore 〈関西学院大〉

**103** 注意深いセールスパーソンならそんなもめごとは避けることができただろう。

- A (salesperson / avoided / careful / have / could) the trouble. 〈九州産大〉

**104** (a) To see us walking together, they would take you for my sister.

- (b) If ( ) us walking together, they would take you for my sister.

- ① they have seen ② they saw  
③ they would see ④ they will see 〈中央大〉

**105** “I didn’t go to class yesterday because my car broke down.”

- “You ( ) mine. I wasn’t using it.”

- ① could borrow  
② could have borrowed  
③ may borrow  
④ may have borrowed 〈センター試験〉

**102** 私は両親に手紙を書いた。そうしなければ、両親は私のことを心配しただろう。

**104** (a) (b) 私たちが一緒に歩いているのを見たら、彼らはあなたを私の姉[妹]だと思い違いをするだろう。

**105** 「車が故障したので、昨日私は授業に行きませんでした」  
「私の車を借りることができたのに。私は車を使っていなかったから」

## Point 036 条件節の意味を表す表現

この種の仮定法は、動詞表現に仮定法の主節の形が残っているので、それを手がかりに読みとる必要がある。

- 101 副詞句 **with A** 「もしAがあれば」に仮定の意 標準  
 ▶ 仮定法では、if節の意味を他の表現で表すことがある。本問では **with A** 「もしAがあれば」の形にして、副詞句にif節の意味を含ませる。  
**+プラス** **but for A=without A**(→93, 94)も副詞句にif節の意味を含ませているという点では同じ。
- 102 **otherwise** 「さもなければ」に仮定の意 標準  
 ▶ 仮定法の文脈での **otherwise** は、前述の内容を受けて、その反対の仮定をする表現として用いられる。「そうしなかったら/さもなければ」の意味で、本問の場合は「両親に手紙を書かなかったならば」という意味が含まれている。
- 103 主語に仮定の意 標準  
 ▶ 主語に仮定の意味が含まれる場合がある。本問はその形を作る。  
 ▶ 条件節を使えば、設問の英文は以下ようになる。  
*If he[she] were a careful salesperson, he[she] could have avoided the trouble.*
- 104 不定詞に仮定の意 標準  
 ▶ (a)の *To see us walking together* の不定詞に「私たちが一緒に歩いているのを見れば」という仮定の意味が含まれている。  
**+プラス** 問題 101 ~ 104 のパターン以外で、分詞構文に条件節の意味が含まれる場合を見ておこう。  
*The same thing, happening in a large hotel, would amount to disaster.*  
 (同じことが、大きなホテルで起これば、大惨事になるだろう)
- 105 条件を表す表現のない仮定法 発展  
 ▶ 仮定法でありながら条件を表す表現が一切なく、話者の意識の中でのみ「…するならば」「…するとしても」といった気持ちが働いている場合がある。本問の場合、「私に頼んでいたら」といったニュアンスが言外にあり、仮定法過去完了の主節の形を選ぶ。  
 ▶ この種の客観式の選択問題では消去法の発想も重要。①「借りることができた」、③「借りるかもしれない/借りてもよい」、④「借りたかもしれない」では文意がつかない。

101 With a little more effort(if 不要) 102 ③

103 careful salesperson could have avoided 104 ② 105 ②